



2021年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社Amidaホールディングス
 コード番号 7671 URL <https://www.amida.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤田 優
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼グループ統括管理本部長 (氏名) 浅田 保行 TEL 06(6449)5510
 定時株主総会開催予定日 2021年9月22日 配当支払開始予定日 2021年9月24日
 有価証券報告書提出予定日 2021年9月22日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年6月期の連結業績（2020年7月1日～2021年6月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期	3,191	10.2	446	57.5	449	50.9	301	20.8
2020年6月期	2,894	6.5	283	22.1	297	38.6	249	68.4

（注）包括利益 2021年6月期 301百万円（20.8%） 2020年6月期 249百万円（68.4%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年6月期	71.64	—	16.6	19.9	14.0
2020年6月期	59.29	—	16.2	15.1	9.8

（参考）持分法投資損益 2021年6月期 ー百万円 2020年6月期 ー百万円

（注）当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期	2,428	1,964	80.9	466.75
2020年6月期	2,096	1,662	79.3	395.12

（参考）自己資本 2021年6月期 1,964百万円 2020年6月期 1,662百万円

（注）当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年6月期	387	△75	△0	1,567
2020年6月期	302	△15	△0	1,256

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期	—	0.00	—	37.00	37.00	77	25.8	4.0
2022年6月期（予想）	—	0.00	—	18.50	18.50		26.6	

（注）当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。なお2021年6月期以前につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2022年6月期（予想）については、株式分割後の数値を記載しております。

3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,296	3.3	452	1.3	452	0.6	293	△2.8	69.64

（注）当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は当該株式分割後の発行済株式数（自己株式を除く）により算定しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期	4,208,200株	2020年6月期	4,208,200株
② 期末自己株式数	2021年6月期	354株	2020年6月期	200株
③ 期中平均株式数	2021年6月期	4,207,899株	2020年6月期	4,208,045株

(注) 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、企業収益や雇用環境の悪化など厳しい状況が続いております。緊急事態宣言の解除後には経済活動再開の動きにより景気回復の兆しは一部で見られたものの、感染の再拡大により2021年1月及び4月に緊急事態宣言が一部地域で再発令されるなど、収束の見通しが立たず、先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの軸事業であるEC通販市場は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって生活スタイルが変化したことで、EC化率(全ての商取引のうち、電子商取引が占める割合)の上昇につながり、拡大傾向にあります。一方で印章業界市場全体では、デジタル化の促進等により電子契約やグループウェアが普及し、更に、国・地方自治体の諸手続きの電子化によって押印の機会が減少する方向にあるため、市場規模も減少傾向にあり、今後は一定範囲の顧客を各社が取り合う構造となることから、企業間競争はさらに厳しくなる状況が続くと考えております。

このような環境の下で、当社グループにおきましては、インターネットビジネスの可能性を追求し、一人でも多くの方にその利便性・楽しさ・文化的な豊かさを伝え、グローバルな経営に取り組むという経営方針の下、既存のデジタルマーケティング事業による集客と、販売、製造、出荷まで行うEC通販事業をグループ全体で一気通貫型の事業体系として取り組んでまいりました。また、ECサイトへの顧客流入経路の変化の対策として、指名検索の拡充を図り、アルゴリズムの変動に左右されにくい対策を実施・検証した上で、WEB広告コスト(広告のクリックに対して料金が発生するWEB広告など)のコントロールを実施いたしました。

当連結会計年度においては、購入を目的とする顧客への販売系サイト(「ハンコヤドットコムサイト」等)の自然検索順位が上位で安定しており、販売系サイトへの訪問客数(流入数)は前年同期比5.2%増で推移いたしました。グループサイト全体の流入数は18,716,426件(前年同期比3.7%増)となり、下落傾向にあったCVR(流入数のうち実際に購入に至った割合)にも改善が見られ2.6%(前年同期と比べ0.2ポイント増加)となったことで、受注件数は前年同期と比較して48,571件(前年同期比11.3%増)増加いたしました。

これらによって、売上高は前年同期比で10.2%増加いたしました。利益につきましては、WEB広告及びブランディング強化のためのプロモーション費用によって広告宣伝費は増加しましたが、その他の広告運用の見直しにより販売促進費が削減されたことや、効率的な経費の運用に努めた結果、販売費及び一般管理費の売上比率が前年同期と比較して4.1ポイント減少し営業利益は増加いたしました。また、キャッシュレス還元事業による補助金収入を営業外収益に計上しており、これらの要因により経常利益も増加いたしました。

事業別の経営成績は以下のとおりであります。

EC通販事業におきましては、客数は479,433人で前年同期と比べ49,506人(前年同期比11.5%増)増加、客単価は6,656円で前年同期と比べ76円(前年同期比1.1%減)減少となりました。

主な商材区分別の状況は、彫刻(主に印鑑及び印鑑ケース等の取り扱い)では、売上高は1,987,946千円で前年同期と比べ176,687千円(前年同期比9.8%増)増加となり、スタンプ(主に浸透印及びゴム印等の取り扱い)では、売上高は839,720千円で前年同期と比べ85,585千円(前年同期比11.3%増)増加となり、印刷(主にカレンダー、名刺等の取り扱い)では、売上高は194,353千円で前年同期と比べ245千円(前年同期比0.1%減)減少となりました。

デジタルマーケティング事業におきましては、WEBマーケティング分野では、主にグループ会社である株式会社ハンコヤドットコムの顧客獲得のためのサイト構築、広告運用、SEO対策及びグループ会社のシステムの保守・開発支援サービスを行いました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,191,112千円(前年同期比10.2%増)、営業利益は446,340千円(前年同期比57.5%増)、経常利益は449,497千円(前年同期比50.9%増)、税金等調整前当期純利益は449,264千円(前年同期比31.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は301,468千円(前年同期比20.8%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は1,989,770千円となり、前連結会計年度末に比べ318,330千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金311,381千円並びに原材料及び貯蔵品49,904千円の増加、売掛金45,954千円の減少によるものであります。

また、固定資産は438,837千円となり、前連結会計年度末に比べ13,395千円増加いたしました。これは主に、無形固定資産15,979千円の増加、有形固定資産9,114千円の減少によるものであります。

この結果、総資産は2,428,607千円となり、前連結会計年度末に比べ331,726千円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は388,105千円となり、前連結会計年度末に比べ31,489千円増加いたしました。これは主に、未払法人税等38,968千円の増加、未払消費税等10,583千円の減少によるものであります。

また、固定負債は76,480千円となり、前連結会計年度末に比べ1,128千円減少いたしました。

この結果、負債合計は464,585千円となり、前連結会計年度末に比べ30,361千円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,964,021千円となり、前連結会計年度末に比べ301,365千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加301,468千円等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ311,381千円増加し、1,567,892千円(前年同期比24.8%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は387,240千円(前年同期比28.2%増)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益449,264千円、減価償却費68,079千円等の増加要因及び法人税等の支払額116,650千円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は75,756千円(前年同期比400.8%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出27,324千円、無形固定資産の取得による支出48,209千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は103千円(前年同期比118.1%増)となりました。これは、自己株式の取得による支出103千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2022年6月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会活動への影響や、消費動向などの先行きが不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループの軸事業であるEC通販市場は、EC化率(全ての商取引のうち、電子商取引が占める割合)の上昇によって拡大傾向にあります。一方で印章業界市場全体では、デジタル化の促進等により市場規模は減少傾向にあり、企業間競争は更に激しくなる状況が続くと考えております。

また、ECサイトへの顧客流入経路の変化の対策として、googleのアルゴリズムの変更等による自然検索順位の安定が不可欠であり、対応力の強化に努めてまいります。また、ハンコヤドットコムのブランド強化を充実させることで指名検索の拡充を図り、アルゴリズムの変動に左右されにくい対策を実施・検証した上で、WEB広告コスト(広告のクリックに対して料金が発生するWEB広告など)のコントロールを引き続き実施してまいります。一方で前期に採用した人員の増加分や雇用単価の上昇による人件費の増加傾向は続くことが予想されることから、企業収益への影響は強まると考えております。

このような環境の下、2022年6月期の連結業績予想につきましては、売上高3,296百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益452百万円(前年同期比1.3%増)、経常利益452百万円(前年同期比0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益293百万円(前年同期比2.8%減)を見込んでおります。

なお、業績見通しは、オリンピック期間中の一時的な売上への影響と前期の第1四半期は巣ごもり消費や経済対策による特別給付金の支給等により個人需要が大幅に拡大したことで第1四半期は厳しい状況で推移することを予想しております。

また、第2四半期以降は一定の伸び率を確保できるとの見通しに基づき作成しております。

新規商材として、名入れ・ノベルティー関連商品の取り扱いを強化していく予定ですが現状の推移のみ計画に反映しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による影響は軽微であるとの予想ですが、業績の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,256,511	1,567,892
売掛金	122,783	76,829
商品及び製品	72,994	80,872
仕掛品	555	556
原材料及び貯蔵品	186,745	236,649
前払費用	29,182	26,942
その他	2,667	27
流動資産合計	1,671,439	1,989,770
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	101,800	95,060
機械装置及び運搬具(純額)	109,005	107,090
工具、器具及び備品(純額)	4,433	3,974
土地	113,078	113,078
有形固定資産合計	328,318	319,204
無形固定資産		
ソフトウェア	67,097	53,938
ソフトウェア仮勘定	2,011	31,217
その他	350	283
無形固定資産合計	69,459	85,439
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,567	10,261
差入保証金	17,109	16,490
その他	6,985	7,441
投資その他の資産合計	27,662	34,193
固定資産合計	425,441	438,837
資産合計	2,096,880	2,428,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当連結会計年度 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,057	54,028
未払金	157,127	160,057
未払法人税等	70,877	109,845
未払消費税等	45,072	34,488
預り金	13,512	13,656
ポイント引当金	6,958	7,161
その他	8,011	8,869
流動負債合計	356,616	388,105
固定負債		
役員退職慰労引当金	76,480	76,480
繰延税金負債	1,128	—
固定負債合計	77,608	76,480
負債合計	434,224	464,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,913	79,913
資本剰余金	69,913	69,913
利益剰余金	1,513,020	1,814,489
自己株式	△191	△294
株主資本合計	1,662,656	1,964,021
純資産合計	1,662,656	1,964,021
負債純資産合計	2,096,880	2,428,607

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,894,436	3,191,112
売上原価	1,357,580	1,494,687
売上総利益	1,536,855	1,696,425
販売費及び一般管理費	1,253,376	1,250,084
営業利益	283,479	446,340
営業外収益		
受取利息	12	13
補助金収入	14,254	2,007
助成金収入	71	903
その他	157	241
営業外収益合計	14,495	3,166
営業外費用		
為替差損	—	9
営業外費用合計	—	9
経常利益	297,975	449,497
特別利益		
固定資産売却益	—	233
役員退職慰労引当金戻入額	50,000	—
特別利益合計	50,000	233
特別損失		
固定資産除却損	6,531	465
特別損失合計	6,531	465
税金等調整前当期純利益	341,443	449,264
法人税、住民税及び事業税	94,898	155,618
法人税等調整額	△2,965	△7,822
法人税等合計	91,933	147,795
当期純利益	249,510	301,468
親会社株主に帰属する当期純利益	249,510	301,468

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
当期純利益	249,510	301,468
包括利益	249,510	301,468
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	249,510	301,468
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	79,913	69,913	1,263,510	△143	1,413,193	1,413,193
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			249,510		249,510	249,510
自己株式の取得				△47	△47	△47
当期変動額合計	—	—	249,510	△47	249,462	249,462
当期末残高	79,913	69,913	1,513,020	△191	1,662,656	1,662,656

当連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	79,913	69,913	1,513,020	△191	1,662,656	1,662,656
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益			301,468		301,468	301,468
自己株式の取得				△103	△103	△103
当期変動額合計	—	—	301,468	△103	301,365	301,365
当期末残高	79,913	69,913	1,814,489	△294	1,964,021	1,964,021

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	341,443	449,264
減価償却費	72,059	68,079
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50,000	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△11,038	203
受取利息	△12	△13
固定資産売却益	—	△233
固定資産除却損	6,531	465
未払消費税等の増減額(△は減少)	25,581	△10,583
売上債権の増減額(△は増加)	△35,742	45,954
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,982	△57,784
仕入債務の増減額(△は減少)	6,018	△1,029
その他の資産の増減額(△は増加)	△68	5,499
その他の負債の増減額(△は減少)	17,335	4,054
小計	374,090	503,877
利息及び配当金の受取額	12	13
法人税等の支払額	△71,975	△116,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	302,127	387,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,795	△27,324
有形固定資産の売却による収入	—	233
無形固定資産の取得による支出	△12,873	△48,209
差入保証金の差入による支出	△0	—
保険積立金の積立による支出	△455	△455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,126	△75,756
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△47	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47	△103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	286,954	311,381
現金及び現金同等物の期首残高	969,557	1,256,511
現金及び現金同等物の期末残高	1,256,511	1,567,892

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、EC通販事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービス区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当する事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当する事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
1株当たり純資産額	395円12銭	466円75銭
1株当たり当期純利益	59円29銭	71円64銭

- (注) 1. 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)	当連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	249,510	301,468
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	249,510	301,468
普通株式の期中平均株式数(株)	4,208,045	4,207,899

- (注) 当社は、2021年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、普通株式の期中平均株式数を算定しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2021年4月15日開催の取締役会の決議に基づき、2021年7月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2021年6月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき、2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	2,104,100株
株式分割により増加する株式数	2,104,100株
株式分割後の発行済株式総数	4,208,200株
株式分割後の発行可能株式総数	8,000,000株(変更なし)

(3) 分割の日程

基準日公告日	2021年6月10日
基準日	2021年6月30日
効力発生日	2021年7月1日

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。